



名間武忠 議員

定年退職者の再雇用は。

町長
持続可能な組織運営
の確立を目指す。

定年退職者の再雇用および今後の人事管理について。

町長 Ⅱ再任用制度については、年金受給開始年齢の段階的引き上げに対応し、国家公務員の雇用と年金の接続を図るための方法として、民間における雇用方策を視野に入れて検討されてきた結果、定年延長ではなく再任用制度を採用することが閣議決定され、地方公共団体においてもこの趣旨を踏まえ、地域の実情に応じて必要な措置を講ずるよう要請されたところである。本町においても今年度の定年退職者から再任用制度を運用することとしており、再任用職員の持つ経験やノウハウの維持、継承など将来

にわたる持続可能な組織運営の確立を目指す。

第5次振興計画による田皆岬展望所付き休憩所は。

町長 Ⅱ整備可能な事業がなか検討中であり、地元の見地の聴取や調整に時間を要する。

下平川平川線（※1）改良工事について。

町長 Ⅱ本線は、平成25年度に路面性状調査を実施しており、舗装対応箇所、線形改良箇所等の整備方法の検討を行い、社会資本整備総合交付金事業での実施について検討していく

知名C団地建て替え工事については。

町長 Ⅱ平成23年に策定した「知名町公営住宅長寿命化計画」を策定し、優先度の高い知名C団地の計画を計上しており、今年度に、基本設計・進入路測量設計・地質調査等を発注し平成26年度計画に向けて進めている。

給食センター建替工事については。

町長 Ⅱ給食センター建て替え検討委員会を組織するなどして、施設の規模または、建替建設用地などについての具体的な事業計画の策定を進め、早期実現に取り組む。

町道瀬利覚名畑線未着工箇所の整備について。

町長 Ⅱ約40メートルが未着手となっている。筆界未定（※2）が解消され次第用地取得に着手し改良工事に着手する。



①を反対側から見たところ。約1車線分狭くなっている。



短い距離だが、急激に狭くなるためかなり危険。

（注1）下平川平川線
下平川バス停（福山齒科わき）から八チマキ線へつながる道路。

（注2）筆界未定地

筆界未定地とは、地籍調査が行われた際に、境界（筆界）を確認できなかったため、筆界が未定のまま処理されたままの土地のこと。確認できない理由としては、所有者間に諍いがある、調査を行った際に土地所有者の立ち合いがなかった、または立ち会っても決まらなかった場合等がある。